

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
卵巣癌 オラパリブ・ベバシズマブ併用維持療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1	① 生食50mL(プライミング) ② ベバシズマブ 15mg/kg + 生食100mL ③ 生食50mL(フラッシュ)		
連日	① オラパリブ 300mg * 2		
コメント	白金製剤及びベバシズマブを含む初回化学療法が奏効し、かつ腫瘍組織を用いたHRD検査陽性の場合に適用。 d1-21 オラパリブ300mg/回 1日2回内服。		

プロトコールに関する解説
<p>本治療は進行卵巣癌において白金製剤及びベバシズマブを含む初回化学療法が奏効し、かつ腫瘍組織を用いた相同組み換え修復異常があった方に対するオラパリブ・ベバシズマブ併用療法である。相同組み換え修復異常の検査は摘出もしくは生検にて採取した腫瘍組織を用いて行います。</p> <p>臨床試験では初回化学療法後の維持療法においてオラパリブ・ベバシズマブ併用療法とこれまで用いられてきたベバシズマブ単剤療法を比較しており、オラパリブ・ベバシズマブ併用群で有意に無病生存率を延長し、特に相同組み換え修復異常があった場合にその効果があるとされています。</p> <p>副作用で頻度の高いものとして高血圧、貧血、好中球減少などが挙げられています。</p>